

No. 1

キーワード	熱源等による輻射熱による影響				
対象	利用者	管理者	計画者	設計者	危険度レベル
質問者	◎	◎	○		★
回答者	◎	◎	◎	◎	
問題と対応	Q			A	
	ヒュームフード内でホットプレート(熱源)等を使用したのですが、注意しなければならないことがあるでしょうか。			大きな熱源を使用する場合は、熱排気に必要な排気風量が必要になります。また、熱源を設置する際には直接作業面に置くのではなく、耐熱性の台を使用し作業面間に隙間を設けてください。特にセラミック製天板に集中的に負荷が掛かるとひび割れの原因になります。また、輻射熱による影響を防ぐため、前面サッシや側板・パツフル板から150mm程度離して設置してください。	
参考資料	局所排気装置と運用・管理の基礎知識とのリンク関係				
	1-4. ヒュームフードの構成部品と材質 表1-2b ヒュームフードの実験操作別分類 表1-4a ヒュームフードの主な構成材料の特長 2. 気流構成と運転条件 3. 運用と使用方法			局所排気装置と運用・管理の基礎知識と要求事項整備	
				項目名称	参照先
			1: 実験室における局所排気装置の基礎知識	○	
			2: 気流構成と運転条件	○	
			3: 運用と使用方法	○	
			4: 排気設備と換気設備		
			5: 実験排ガスの処理		
			6: 実験室内の環境管理		
			7: 保守と点検		
			8: 実験室に関する要求項目		